

広報

# ひかりがわ



せせらぎ荘利用者へ、リコーダーでの演奏をプレゼントする6年生



「決まった！」練習の成果をみせる園児たち



「記念撮影してよ〜」村の木“ハチノキ”の苗木を植樹する生徒たち



3  
No.  
489  
2002

## 「僕たち、私たち…卒園・卒業します」

2月21日、越原保育園のお別れ会。同日、東白川中学校3年生の卒業記念植樹。2月27・28日、東白川小学校6年生のせせらぎ荘訪問。3月15日、みつば保育園のお別れ会。それぞれに行われた行事ですが、卒業するという意識からなのか、どの子の表情もいつもより輝いて見えました。

# 台形の公式が消える？

～新しい学校の枠組みがスタートします～

4月からスタートする完全学校週5日制。「授業時間が減ったり、台形の面積を求める公式が無くなるって聞いたけど…勉強は大丈夫？」との声に答えるべく、東白川小学校の今後の取り組みについて、古田博彦校長に伺いました。



▼いよいよ学校週5日制がスタートしますが：

そういう時期がきたなど。学校側として、その準備はしています。

▼学校週5日制のねらいとは？

子どもが地域で過ごす時間が増えることで、子どもと地域社会との接点が増えます。これは、地域で子どもを教育していくための絶好のチャンスであり、そうした環境の中で、子どもが自ら課題を探し、解決に向けて取り組む能力を身に付けることを期待しています。また、人間の成長ということを考えたときに「教育Ⅱ学校」ではなく、社会の役割をもう少し見直すことで、学校と地域、大人と子どもが一緒になって生活し、成長していこうという流れになることを期待しています。

▼一概に「子どもの教育」だけでなく、「大人も教育」ということ？

そうです。大人の生きがいにも繋がってくると思います。今まで生涯教育というと「大人だけが勝手に…」というイメージでしたが、そうではなく、社会の構成員として全員で伸びていくものではない

かと思っています。

▼学校（授業）としての動きは？

まず、基礎的な学習内容を身につけさせること、そのための生活習慣・学習習慣などの基礎的習慣。そして、今までの「点数Ⅱ学力」という考え方でなく、生きるために必要な問題解決能力を重視します。この問題解決能力を二分すると、一つは問題を見つけることや情報を集めること、調べたり、組み立てて試すといった技能。もう一つは、その技能を使って問題を解決しようとする意欲や行動力です。このほか、仲間と生活していく力、豊かな感性、健康を保つ力なども含めた六つの事柄を基本に教育課程を仕組むことになります。

▼授業方法への影響は？

新しい学習指導要領によって教科の時間数が減少しますが、これは学習内容が精選された結果といえます。そして「総合的な学習」の時間数を増やすことで問題解決能力の充実を図ります。また、その能力には個人差があるので、学習の仕方がクラス全員を対象とした一斉の方法から、より個別化さ

れた学習方法になってくると思います。例えば、個人差のある子どもたちに対し、その子に合った学習内容を仕組むことが必要となりますが、今まで、一つのクラスに対し一通りだった教育指導案を、複数用意することで、同じクラスの中でも幅広い対応が可能になります。

▼授業時間が減少されるとなると：学力の低下が心配です

学習内容が増えれば、それがそのまま定着するというわけではありません。学習内容を定着させるためには、本人の意欲や根気、粘り強さというものが重要です。しかし、現代の子どもには、それらの力が弱いという傾向がみられます。そこで、学校では、基本的学習習慣をつけるとともに問題解決学習によって、意欲や学習の面白さなどを教えていきます。一つの課題をクリアした子は、更に上を目指せるよう指導し、クリアしてない子には、その子なりの個別指導をしますので、時間減少が学力低下に繋がることはありません。

▼時間は少なくとも、より内容の

濃い学習方法になるのですね

はい。一般的に、授業時間が減少するだけ”と思われがちですが、そうではなく学習方法が変わるのです。意味の無い詰め込み型の学習ではなく、ゆとりある時間の中で基本的学習内容をより効率的に学習していくこととなります。また、「僕は漢字が苦手だあ」という子が、「家で練習してみよう」と思う気持ちや実行力を、これからは大切にしていきたいというところで、「出来ないなら、無理にでもやらせる」という学習とは違うということですよ。

▼子どもの「やる気」しだいということ?

基本的な指示と誘導はするわけで、前のように「待っていれば指示が来る」というような体制は作らないということです。当然、勉強する子は一生懸命するけど、勉強しない子はしないという心配もあります。学校側としては、どの子も「勉強していきたい」という気持ちを持っているものとして、各担当が、子どもの後押しをする方向で進めていきます。

▼学習のレベルのバラつきは?

これからの学習は、基本的な内容を重視します。例えば算数の授業では、台形の面積の公式は教えませんが面積の求め方の基本として、どの子にも確実に三角形の面積の求め方を身につけさせます。

この学習をじっくりやり、どの子にも分かる面白さを感じさせていくのです。余力のある子には三角形の面積の求め方を使って台形の面積を求めるなど、上の問題に向かわせ、算数の力を伸ばしてやります。このように、基本的な学習内容においては、どの子も同じようにじっくりと取り組ませていくので、今までのように理解しないままに次へ進むというようなことは生じないと思います。これからは、それぞれの子が自分の得意分野で創造力や工夫力を伸ばしていくことが容易な学習環境になるといえるのではないのでしょうか。ただしその分、自分の得意分野を持つという責任が加わります。

▼差が出ないというものの、学力に不安が：塾へ行く必要は?

これからは塾の行き方の問題に

なると思います。自らの意思で塾へ行くのであれば、どんどん塾へ行けばいいと思いますが、そういう意思のない子を、親の気休めのために塾へ行かせているとしたら：伸びるべきことも伸びていかないのでは? 「英語塾なんて行きたくないけど、皆行ってるから：」

という形ではなく、「僕は、英語が話せるようになりたいから、塾へ行くんだ」というように自分自身の問題として考えること、「他人と自分とは違う」という意識を持つことが、これからの教育には必要といえるのではないのでしょうか。

## 東白川中学校 武部源治校長に伺いました

▼よく「週末の部活動はどうなるの?」との声を耳にします。学校の対応を教えてください。

今までは、毎週土曜日と第1日曜日を部活動の時間として取り組んできましたが、4月からは原則として第1、3土曜日の実施となり、生徒に対する拘束時間の減少とともに、生徒が個人的に興味のある活動に取り組む時間が生まれてきます。また、従来からの「部活動」という呼び方が「準部活動」に変わると同時に、それらに対する機構が大きく変わってきます。学校主体の運営から保護者(準部活動の保護者会)主体の運営になることで、それらに関する指導者や責任などが保護者側へと移行します。しかし、いきなりの移行では保護者への負担が大きすぎると考えられますので、指導者などの要望があれば、学校としては全面的に協力していきます。数年後、保護者や地域の皆さんの力で、子どもたちのスポーツ活動全てを担っていくことができたなら…。その第一歩が4月からスタートするものと考えています。



# 村はどう動く?

前頁では、各学校の取り組みについて紹介しましたが、ここでは、東白川村としての完全学校週5日制（主に週末の部分）への対応、地域の方々の意識の持ち方について、可茂教育振興事務所派遣社会教育主事・二村文生先生に伺いましたので紹介します。

★週5日制に向けて、まず何が必要ですか？

完全学校週5日制実施後、土・日・祝日や、夏・冬休みなどの長期休暇などを合わせると、九年間の義務教育の内、四年間が休日という計算になります。四年間という長い時間、家庭や地域社会が子どもたちの教育をすることになるわけですが、そうなる「こんな子どもに育ってほしい」という親の願いや「こんな育て方をしたい」という親の考えを、きちんと持たなくてはいけないと思います。

★地域住民の一人としては、どう

したら良いのでしょうか？

今は、少子化現象で、兄弟も少なく、近所の遊び仲間も少ないという状況ですから、子どもたちが自然に群れるということが減ってきていると思います。やはり、子どもは、異年齢の集団を形成し、多くの子どもたちとふれあうことが心の成長のために重要だと思えます。こうした点から考えると

「子ども会活動」が大切になってくるのではないかと考えます。子ども会活動も、役員が一年で替わってしまふことなど、なかなか活発に活動できないという悩みがあります。子ども会には、小学一年生から中学二年生の地域の子どもたちが所属していますから、休日に異年齢の集団が作りやすいという利点があります。子ども会活動をキツカケにして、学校週5日制の対応をして



いったらどうかと考えています。

★最近「子ども応援団」という言葉を目にしますが…

教育委員会では、地域ぐるみで子どもたちを育てるという考えから、子どもたちをいろいろな面から支え、育てていこうという「子ども応援団」構想を立てました。その内容は、◎子どもたちに何かを教えて下さる方。◎子どもたちの活動を側面から応援して下さる方（例えば、子ども会キャンプの

お手伝い、少年スポーツの試合の応援、子どもが関わる大きな行事等のお手伝い、子どものための活動のアイデアを出す…)など、個人や団体みなさんにこの応援団に登録していただき、活動をし

ていきたいと考えています。

例えば、今、一つの案としてあるのは、地域の集会場などで子ども会活動を行うとき、「子ども応援団」に講師や指導者を依頼して下されば、子ども会の要望に合う人にそこへ出向いて指導していただくようお願いする、という「子ども会の出前講座」のようなものを考えています。

★皆の協力が必要になるのでですね 冒頭の話に戻りますが、地域ぐるみで子どもたちの教育に携わるとなると、地域のみなさんが「このことだけは子どもたちに譲よう」というものを共通理解していかねばならないと思います。今、青少年健全育成村民会議では「あいさつプラスひと声」運動の呼びかけが行われていますし、地域ぐるみ教育推進委員会では「あいさつ」と「はきものそろえ」を推し進めています。こうした取り組みを地域のみなさんと、話し合い、共通理解し合って子どもたちと関わっていききたいと考えています。

住民基本台帳が変わる！

# 住民基本台帳ネットワークシステムでひらくIT社会

全国の市区町村の住民基本台帳と都道府県・指定情報処理機関をネットワークで結び、電子政府・電子自治体の基盤をつくります。



## 平成14年8月以降順次実施

- 各種行政手続の住民票の写しの添付が、不要となります

さらに将来は…

- インターネット申請に際し住民票の写しの添付に代わる役割を果たします

## 平成15年8月実施予定

- 全国どこの市区町村でも住民票の写しの交付が受けられます
- 住民基本台帳カードでいろいろなサービスが受けられます
- 住民基本台帳カードを持っている方は、転入転出時に窓口に行くのが一回ですみます

住基ネットを運営するため、平成14年8月、住民票コードを住民の皆様へ通知します。個人情報保護に万全を期しつつ、IT社会に対応するため住基ネットを構築していきます。

～住民票コードは無作為の番号で、請求により変更が可能です。また、民間部門での住民票コードの利用は禁止されています～

総務省・指定情報処理機関（地方自治情報センター）  
[http://www.lasdec.nippon-net.ne.jp/rpo/juki-net\\_top.htm](http://www.lasdec.nippon-net.ne.jp/rpo/juki-net_top.htm)



# 国民年金保険料の納付方法が変わります

## 国民年金保険料の納付書が社会保険庁から直接送られてきます

今まで東白川村役場から送られていましたが、平成14年4月分の保険料から社会保険庁から直接、送付されます。

※平成13年度分（平成13年4月分～平成14年3月分）の東白川村役場から発行された納付書については、平成14年4月まで使用することができます。

## 保険料を納める場所が変わります

平成14年4月から、全国の銀行、郵便局、農協、信用組合、信用金庫、労働金庫などで納めることができるようになります。

### 平成14年3月まで



### 平成14年4月から



国民年金が変わる！

# できごとと事情

## 「加子母東白川食と文化の館」完成!

機械は何に使われるの?」「衛生面はどうなの?」と関係職員に質問する姿が、あちこちで見られました。この施設は、延床面積八百二十平方メートルという大きな施設ながら、木造瓦葺で、どこことなく温もりを感じる造りになっています。また、下処理室、調理室、和え物室など作業ごとに部屋が別れていたり、施設の床に水を撒かないドライ方式の採用など、衛生面は大きく向上。そして、四月(新学期)から小中学校への給食調理がスタートします。

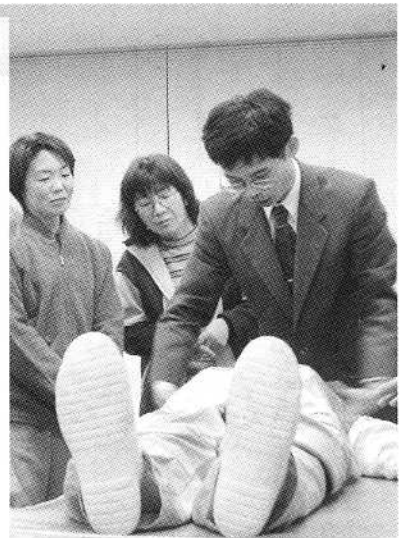


二月九日、加子母中学校の西側に建設中だった「加子母東白川食と文化の館」の竣工式が行われました。関係者約八十人は、研修室での神事後、作業工程や各種設備についての説明を受けながら館内を見学。新しい施設への関心は高いようで、「この

◀ 四月の本格的始動を待つ食と文化の館

## 技術・意識の向上のために…研究会を実施

二月十五日の夜、第四回東白川村保健・医療・福祉三施設合同研究会が保健センターで行われ、村内や近隣町村の関係者約百人が集まりました。会の前半には、介護支援専門員、保健婦、看護師、救急救命士が、各専門分野に係るテーマについての課題・改善方法などを発表。また、後半には『病院到着前に必要な救急処置』と題して岐阜県立岐阜病院麻酔科主任医長の増江達彦先生による実技を交えた講演がありました。講話の中で増江先生は「心臓が止まっているのであれば、何もしないよりは、何かやった方が良く」と、救急時の対応について熱弁。参加者は、その言葉を噛み砕くように実技講習を受けていました。



▶ 「心肺蘇生法」実技講習中の増江先生と参加者

## めざせ五輪!? 中学1年生のスキー研修

雲ひとつない好天に恵まれた十六日、技術に合わせた三つのグループに別れた生徒たちは、インストラクターの指示に従ってスキーの操作方法を学びました。今回参加した生徒のうち半数以上が「スキー初体験」なだけに、「面白い!」「簡単!」と余裕をみせる生徒もいれば、転ぶ度に絡まってしまう二枚のスキーに悪戦苦闘する生徒の姿も…しかし、カメラを向けると皆が普段の笑顔になり、友達と楽しむ雪上の「遊び」を満喫しているようでした。



二月十五日〜十七日の三日間、中学一年生が乗鞍青年の家と飛騨高山スキー場を利用してスキー研修を行いました。

▶ 「撮って〜」元気いっぱい生徒たち

# つちのこ材の

## 週5日制に向けて…東白川村保護者の会開催

制に伴う保護者（地域住民）としての役割などを再認識するために行われたもので、全体会として週五日制の経緯や子ども応援団構想についての説明、分科会として「部活と地域スポーツ・文化活動」「託児を考える」の各テーマについて意見交換が行われました。各分科会では「子どもが自主的に外で遊ぶことが少なくなった」「子どもから手が離せない。託児施設があれば…」などの意見が出ていましたが、四月からの具体策について結論は出さず…。しかし、参加者からは「現状が把握できただけでも良かった」との声もあり、大きなヒントを得た会となったようです。



◀意見の飛び交う分科会のようす

二月九日夜、小中学校関係者を対象とした「東白川村保護者の会」が、はなのき会館で開催されました。これは、四月から始まる完全学校週五日制

## お母さんの手作り寸劇に感激☆

二月二十一日。午前九時に越原保育園に集合し、バザー、お別れ会、食事を楽しみ、最終総会を終えると時間は十三時。その後会場をはなのき会館へ移し、十三時半から十五時半まで学校保健会の実践報告会と講演会。園に戻って十六時に園児と共に降園、そして家に帰れば家事が…。と、この過密なスケジュールをこなしたのは、越原保育園の保護者の方々。中でも、午前中に行われた「お別れ会」は、保護者にとっての発表会で、この日に向けて練習してきた、桃太郎やシンデレラなどの手作り劇を三つのグループ別に発表。劇が始まると、その一生懸命ながらもコミカルな演技に会場には笑い声があふれていました。



◀「鬼退治に出発！」と熱演する保護者の皆さん

## 長寿のお手本！生涯青春実践者表彰

した。これは、長寿社会にふさわしい生活スタイルや活動を実践されている高齢者であって、生涯青春実践者として他の模範となる方を称えるものです。桂川さんは、昭和四十三年の老人クラブ長寿会への入会をきっかけに、同四十七年から六期十二年に渡り、東白川村老人クラブ連合会長を務められ、その間に築いた村老連委員会組織の基盤は、現在でも継続されています。また、老人クラブなどの行事に参加することで、人とのふれあいを大切にする姿は、高齢者の鏡といえるのではないのでしょうか。今後の活躍に期待が集まります。



◀賞状を手にする桂川さんと安江村長

二月十三日、県民文化ホール未來会館で行われた健康増進講演会の中で、日向の桂川政一さんが、生涯青春実践者表彰を受けられました。



## 「楽しい思い出をありがとう」

可茂教育振興事務所派遣社教主事 二村文生

私は、美濃加茂市に住んでいますが、生まれたのが益田郡馬瀬村、育ったのが益田郡小坂町とどちらも山と川がきれいな町村でした。ですから、3年前、東白川村教育委員会へ社会教育主事として赴任した時、ふるさとへ帰ってきたような懐かしさを感じました。

そして3年。「乳幼児のひよこくらぶ」「子ども会」「青少年育成」「読み聞かせボランティア・夢風船」「高齢者の白寿大学」…等と、色々な場面で多くの方々とふれあってきました。東白川村のみなさんは優しい方ばかりで、大変楽しく仕事ことができました。4月からは、再び学校へ戻り教壇に立ちますが、東白川



村で過ごした3年間は、子どもたちと接する時の栄養になっていると思います。社会教育に携わってきた経験を生かし、「学校教育と社会教育」「学校と家庭と地域社会」を繋ぐ架け橋になっていければと考えています。東白川村のみなさん、たくさんの美しい思い出を、ありがとうございました。



▲中学卒業の記念植樹 (2/21)



▲ドキドキ。緊張の一日入園 (2/15)

## わが家のスターは ☆満1歳☆



ふうか  
大坪風花ちゃん  
(慶次さん・千寿さん=平)



じんや  
有賀仁哉ちゃん  
(浩幸さん・清美さん=平)

このコーナーの子どもたちはみな同い年。10年後、20年後「広報」を見ればホラ！1歳のあの子の顔が…

## かっせや

～みんなの広場～



## 仲間あつまれ

### ▼安江宜正さん

(越原栞山・19歳)  
下呂町・杉浦電気工事株  
勤務



- 夢は？  
温かい家庭を持って…楽しく暮らしたい
- 好きな異性のタイプは  
明るく楽しくカワイイ子
- 結婚について  
二十四歳頃になりたいです
- 仕事について  
もうすぐ一年。随分と慣れてきたし、楽しいです
- 今、夢中なこと  
安眠
- 趣味は？  
ドライブ。車が好き

※「村について？道路の狭いところは広くして欲しいけど、それ以外には満足！」と話してくれる若者を紹介します。



戸籍の窓 (2月1日~2月28日)

●誕生おめでとうございます

安江 朱里 { 圭 (平)  
佐知子

樋口 風人 { 貴則 (西洞)  
亜生

●いつまでもお幸せに

{ 清水川 令 (中通)  
木村 美香 (上親田)

●おくやみ申し上げます

牧野 武 89歳 (陰地)  
荻田 只 87歳 (曲坂)  
村雲 邦雄 88歳 (中谷)



有村雲建築

村の住宅対策事業(第3期)のうちの1棟を建築される中通の有村雲建築を紹介します。「住宅建築は難しいけど、やりがいがあるよ。今まで数多くの住宅を建てたけど、同じ家は一つとして存在しないから…」と話されるのは、2代目社長の村雲芳樹さん。先代から引き継がれる『誠心誠意』をモットーに、お客様の細かな要望を聞き出し、プランニングを重ね…腕利きの大工と共に住宅を作り上げているとか。村雲社長の「家づくりの原点は、限られた予算の中で、良い材料と優れた技術を惜しみなく使うこと」との言葉に期待が集まります。

<http://www.e-house.co.jp/murakumo-kenchiku/>

2ショット



清水川令さん・美香さん夫婦 (陰地)

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

今月は、二月二日に式を挙げられた陰地の清水川令さん・美香さん夫婦を訪ねました。「共通の趣味?山登りと太鼓かな」と口を揃えて話される二人が知り合ったのは、宮城県からIターンされたご主人が、村の松茶太鼓保存会に加入した三年ほど前のこと。太鼓の仲間としてスタートした二人の関係は、知人を介した「山登り」という共通の趣味を楽しむことで、より親密に…。時間と



ともにお互いを意識するようになり、太鼓・登山仲間としての延長から一年間の交際を経てゴールイン。新婚生活について「美香ちゃんには感謝してます。特に毎日の弁当は、ありがたいですね」と話すご主人に「そんな感謝されることもでも…」と照れくさそうに微笑む奥さん。「今は、二人で山に登ってるけど、いつか家族で登れるようになるといいね」と見つめ合いながら話す姿が印象的な熱くいご夫婦でした。

ちょっと、よって

ほっとアングル



ヤマサ食品にて



古田オートにて



風花屋にて

二月一日、小学二年の児童38名が生活科の授業で「北風と仲良し」として、平地内の自然を探したり、事業所を訪問して「冬探し」を行いました。

これは、昨年春と同じ場所を散策することで、春と冬の違いを探するというもので、児童たちは数人のグループに別れ、水たまりに張る氷を探したり、ヤマサ食品や古田オート、郵便局などの事業所を訪問。訪問先では「豆腐を作るときに使う水は冷たくないんですか?」など、自分なりの疑問を問いかけていました。

## ★自衛隊幹部候補生募集★

◆受付期間／平成14年4月8日～5月10日（必着）

◆募集種目・応募資格／

【一般、技術幹部候補生】

●大学卒業程度の学力を有し、20歳以上26歳未満（22歳未満は大卒者（見込み含む））

●大学院修士課程修了者（見込み）

（見込み）は、28歳未満（海上技術幹部候補生は、理学または工学課程修了者に限る）

【医科・歯科・薬剤科幹部候補生】

●医科・歯科：専門の大学卒（見込み）で20歳以上30歳未満

●薬剤科：専門の大学卒（見込み）で20歳以上26歳未満（薬学修士取得者は28歳未満）

◆試験期日／

1次 平成14年5月25日・26日（26日は飛行要員のみ）

2次 平成14年6月25日～27日

3次 平成14年7月27日～8月8日（航空要員のみ）

◆入隊／平成15年3月下旬～4月上旬

◆問合せ先／自衛隊美濃加茂事務所 TEL0574(25)7495

## 今月の お読み



『せかいいちうつくしいぼくの村』

小林 豊 著

少年は、はじめて父さんと町へ行きます。市場ですももやさくらんぼを売るので。この絵本の舞台はアジアのど真ん中にある国、アフガニスタンです。平和だったこの国で戦争が始まり、15年経った今も続いています。作者は内戦が1日も早く終わってすべての村に平和がおとずれ、そしてもう一度みんなと世界一美しい村で会いたい、そう願っています。

▼昨年四月～五月にかけて、ベネッセ教育研究所（島内行夫代表）が東京、千葉、神奈川の公立中学生二千百人を対象に「中学生の悩み」についての調査を行った▼その中で「自分が好きかどうか」という問いに「とても好き」「わりと好き」と答えた生徒は三十一％。逆に「あまり好きではない」「全然好きではない」とした生徒が四十％と自分を否定的に見る子が多かった。これは、学年が上がるほど強くなっており、男女別では女子の五十一％が「自分に自信を持ってない」でいた▼現在、精神分析論の世界でもっとも人気のあるハインツ・コフートは「人

### 社会教育あれこれ

## 地震の備え万全ですか？

▼地震はいつ襲ってくるか予測できないところに恐ろしさがあります。いつ発生しても適切な対応がとれるよう、各家庭でもしっかりと備えておきましょう。

▼詳しくは、2月3日の消防団予防査察で配布されました「防災時報1号」をご覧ください。また、地震・防災に関する情報、意見がありましたら役場総務課行政係（有5155）までご連絡ください。

## 保健婦だよい

春も近づき…

花粉の季節到来!?

私たちの鼻に花粉やホコリなどが入り込んだ時、これらの異物を身体の外に流し出そうとして鼻みずが出ます。また、ウィルスや細菌などの病原菌に感染すると、膿の混じったどろっとした鼻みずになります。だから鼻みずは、すすって押し戻すのではなく、鼻をかんで、できるだけ出してやるほうがよいのです。

鼻にやさしい鼻のかみ方は

1. 片方ずつかむ

片方の鼻をきちんと押さえるようにします。

2. 鼻をかむ前には、

口から息を吸う

鼻みずを押し出すために、空気をたっぷり取り入れま

3. ゆっくり小刻みにかむ

あわてず、あせらず、少しずつ、確実にかむことが大切です。

4. 強くかみすぎない

一度に力を入れすぎず、少しずつかむようにします。

## 社協から

**配達ボランティア**  
 ▼配食サービスが開始されてから、間もなく一年が経過しました。おかげさまで利用者も口コミで増加している現状です。現在、五十四名の方が配達に携わるボランティアとして登録されており、毎週木曜日の夕食の配達に二十名程度が活動を行っています。この活動は仕事の後など、ちょっとした時間でも活動です。要運転免許という条件はつきませんが、参加されてみてはいかがでしょうか。

## ありがとうございました

御寄付 (2/28現在) (敬称略)

### 【みつば保育園】

たまご200個＝瀬瀬泰郎 (柏本)

### 【東白川病院指定】

吸入器1台＝田口光洋 (中谷)

金10万円＝菊田芳美 (曲坂)

### 【社会福祉施設指定】

金10万円＝菊田芳美 (曲坂)

金20万円＝村雲義英 (中谷)

### 【せせらぎ荘・ヘルパー指定】

金4万円＝牧野義人 (日向)

### 【社会福祉協議会】

清拭用布＝有賀清美 (平)

清拭用布＝樋口かず (中谷)

清拭用布＝栗本幸子 (柏本)

清拭用布＝今井としゑ (黒淵)

清拭用布・古切手＝安江峰子 (平)

清拭用布・寝巻＝長尾知恵子 (平)

清拭用布・石鹸・雑布＝松岡美喜 (日向)

清拭用布・タオル＝日向平婦人部

ふろしき＝匿名

金2千円＝伊藤クニ (柏本)

金2千円＝歳末配分辞退者

金30万円＝牧野義人 (日向)

金10万円＝古田小富 (上親田) ※

※6月11日にご寄付いただいた分につきまして、掲載が漏れていました。今月号の掲載にてお詫び申し上げます。

## お気軽にお電話ください

### 結婚推進室

☎0120-66-3357 有線5148

### 住宅対策室

0574-78-3111(内245) 有線5147

### 子育て支援室

0574-78-2108 有線2508

### 広報担当

0574-78-3111(内230) 有線2130

### ホームページ

<http://www1.kani.or.jp/higashi-shirakawa>

### Eメール

hananoki@kani.or.jp

《東白川村》

## ◆事業主の皆様へ◆

「労働保険料の申請と納付はお早めに」  
 労働保険の平成13年度確定保険料と平成14年度概算保険料の申告・納付手続きは、お済みになりましたか？

申告・納付期限は5月20日です。期限までに正しく申告・納付を終えていただきますようお願いいたします。

申告書の書き方、内容などご不明の点は、岐阜労働局(058-245-8115)又は最寄りの労働基準監督署にお尋ね下さい。

《岐阜労働局》

## ●中濃県税事務所からのお知らせ●

4月1日(賦課期日)現在、身体に障害を持つ方が所有している自動車(軽自動車を除く)について、「自動車税減免申請受付臨時窓口」を、次の日程で可茂総合庁舎に開設します。ぜひご利用ください。

■開設日／4月19日(金)及び5月13日(月)

■時間／10:00～16:00

■場所／可茂総合庁舎1階  
 県税臨時窓口(美濃加茂市)

■問合先／中濃県税事務所

TEL0575(33)4011(内線272)

なお、県自動車税事務所及び最寄りの県税事務所では、従来どおり3月1日～5月24日まで受付を行います。

間は誉められたりとか、人に注目されたいという形で自己愛を満たしたいと思つて生きている」と唱えている。つまり「他者から肯定的な評価を得たい」という願いが、行動の原動力になっているのである▼「自分を好きになれない」「自信がない」という子どもたちに対して、地域社会は何ができるのだろうか？「地域社会の中で認められることで、自信が持てるようになっていく」そんな環境を村ぐるみで作ってあげたらと願っている。(教育委員会)

# 花の作品展



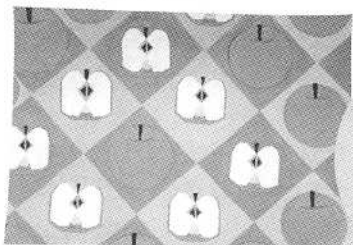
東白川小学校3年生  
「友大君と縄跳びをしている僕」  
安江勇樹くん（中通）



越原保育園「たんぼぼ」 もも組&さくら組



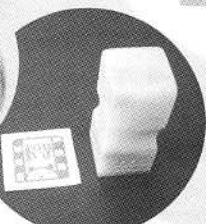
東白川小学校2年生  
「シャークと泳いでいる僕」  
安江 快くん（下野）



1年生「平面構成」  
安江沙也香さん（下親田）



東白川中学校  
3年生「てん刻」  
安江紗貴さん（柏本）



## 短歌

伊吹山雪の田ずらを赤く染め夕日静かに今落ちてゆく  
雪降りて里へおり来し小鳥らは残れる柿に群れてあされり  
南天を揺らしとび立つ鳴のあと小鳥せわしく赤き実啄む  
早や五年我が歳かぞえ免許証更新に来て無事故願う  
夜具の鈴がりがり凍る北満の子育て憶う雪降る夜は  
大雪のいまだ冷たき水の中はやも芽ぶけるいねころのあり  
夜の雨に屋根の雪融け落つる音歩調合わせた足音にきこゆ  
穫りあげし小豆四升を短歌にして生きいきとあり八十路の友は  
朝夕の老いの歩きの数減りてスクールバスの児らが励ます  
寒の雨音なく降りて雪とけし庭にのぞけり水仙の芽は  
また一つ歳とりしわれまなき五年目に入り力弱りぬ  
懐しき想いでつつむ流行歌いねずして聴く深夜放送  
お義母さんの「顔拭くみたい」と神棚の位牌拭いている年の瀬の妻  
雪深く日々籠る身は咲きそめし臘梅眺め安らぐ  
わが打てば幼も打ちし宮太鼓雪の木立に響きて清し  
賀状見る楽しみありて元旦を郵便受の開くを待ち居り  
平和なる年を願いて神前に打つ太鼓にも力の込る  
湯の宿に来て計らずも空高く冬の火花に会いしうれしき  
新漬が届きて友の恙無き便りに思え嬉しく味わう  
皆様の作品をお寄せください。ご投稿は毎月二十日までに  
陰地 安江嘉久一宛にお出しく下さい。

三戸きり  
田口かずみ  
菊田清美  
安江嘉子  
安江とくよ  
菊田良香  
古田 緑  
樋口敏一郎  
安江守平  
平・安江節子  
早瀬久子  
安江嘉久一  
今井光彦  
安江龍玉  
小林道子  
安江 澄  
伊藤美枝  
今井かな  
今井米子



## ぼれびろびろ

▼いつもはデスクワークの私であるが、時々車を運転する時があり、いつも眠気覚ましにラジオを聞きながら運転をする▼ある日、ラジオから流れる人生相談に、つい聴き入ったことがある▼悩み事の内容は今ひとつ覚えていないが、ただ、回答者の先生が相談者に言った一言がとても印象に残った。「あなたが発した言葉は、既にあなたの言葉ではなく、聴き手の私たちの言葉になってるんですよ」▼今まで、家族、友人、初対面の人：いったい何人の人に言葉をかけてきたのだろうか▼口べたの小生、「相手を思い、自分の言葉に責任を持つ」これだけは心がけたものである（Y）

## 人口の動き

—2月末住民登録人口から—  
世帯数…… 903世帯  
人口…… 3,123人  
転入…… 9人  
転出…… 10人  
出生…… 3人  
死亡…… 3人

先月と比較して 1人減  
昨年と比較して 6人減